

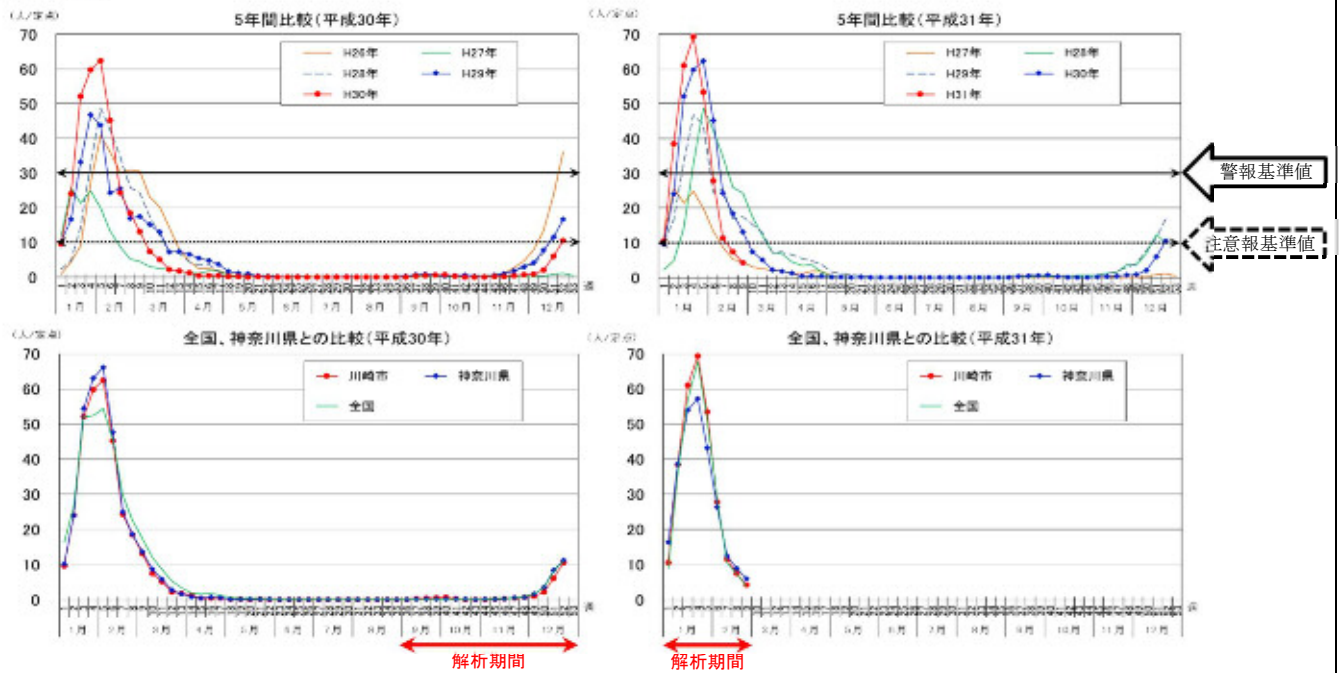
## (2) 定点把握疾患の届出状況(平成30年9月～平成31年2月)

### <インフルエンザ定点対象疾患>

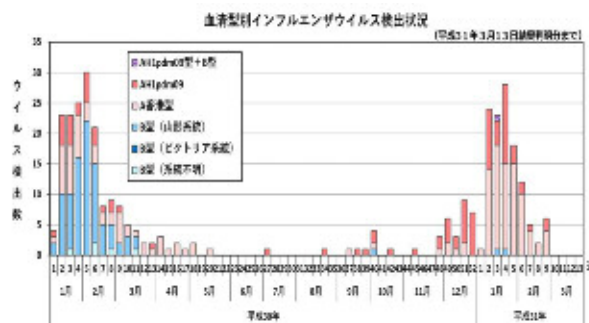
インフルエンザ(警報基準値:定点当たり30人、注意報基準値:定点当たり10人)

#### 【川崎市】

今期(平成30年9月～平成31年2月)は定点当たり11.87人の報告があり、過去5年平均の報告数と比較すると1.18倍で、例年よりやや高いレベルで推移しました。2018/2019シーズンは、平成30年第50週に流行開始の目安である定点当たり1.00人を超え、昨シーズンと比べて3週間遅く流行が始まり、平成30年第52週に流行発生注意報基準値(定点当たり10.00人)、平成31年第2週に流行発生警報基準値(定点当たり30.00人)を超え、第4週に流行のピーク(定点当たり69.41人)となりました。第4週の定点当たり報告数は、現在の調査方法となった平成11年以降最多でしたが、第5週以降患者報告数は急速に減少しました。



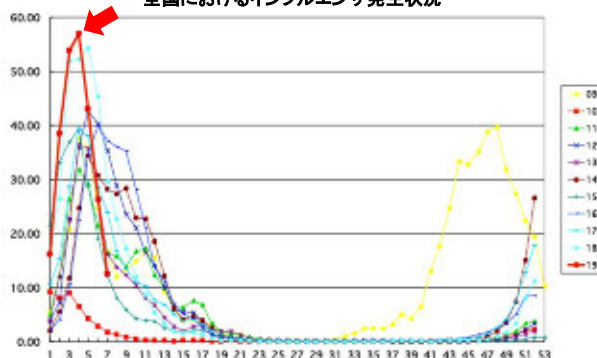
なお、2018/2019シーズンの病原体定点からの病原体検出状況は、A香港型が89件、AH1pdm09型が63件、B型(山形系統)が2件、AH1pdm09型及びB型(山形系統)が1件検出されました。



#### 【全国及びその他】

全国的にも例年より高いレベルで推移しました。

全国におけるインフルエンザ発生状況

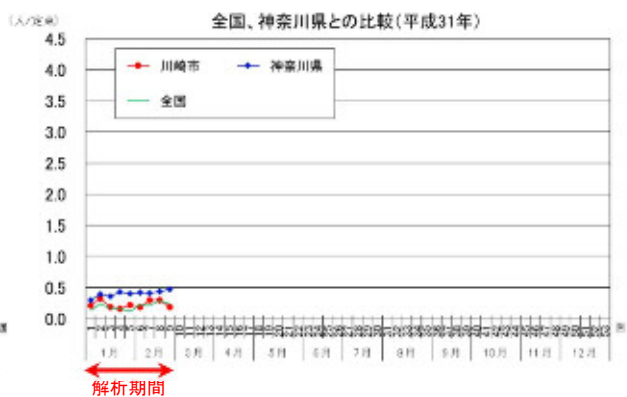
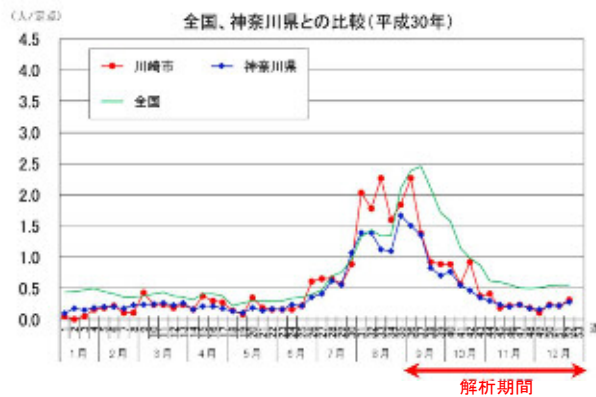
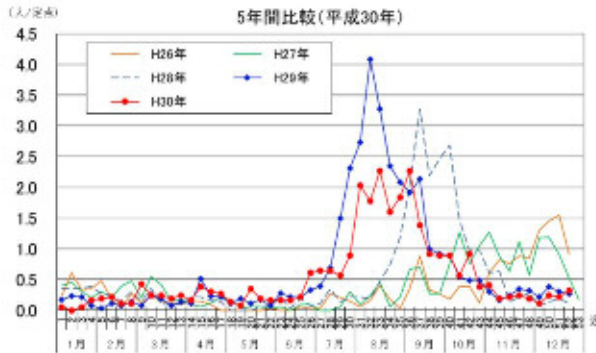


# <小児科定点対象疾患>

## RSウイルス感染症

### 【川崎市】

今期は定点当たり 0.48 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 0.81 倍で、例年よりやや低いレベルで推移しました。6 月下旬から 9 月中旬までは例年より高いレベルで推移しましたが、9 月下旬以降患者報告数は減少しました。なお、平成 28 年以降冬季の流行はみられていません。



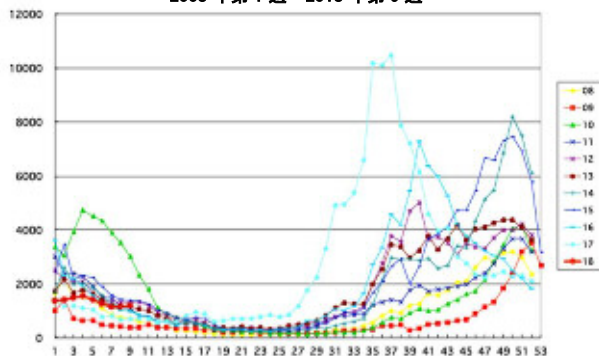
なお、病原体定点からの病原体検出状況は次のとおりです。

区名	患者性別	患者年齢	検体採取日	検査材料	検査結果
中原区	女	1	H30.9.4	鼻腔ぬぐい液	RS ウイルス A 型
					RS ウイルス B 型
中原区	男	1	H30.10.1	鼻腔ぬぐい液	RS ウイルス A 型
高津区	女	10 か月	H30.10.4	咽頭ぬぐい液	RS ウイルス B 型
多摩区	女	2	H30.10.4	鼻腔ぬぐい液	RS ウイルス B 型
幸区	女	1	H30.10.16	鼻腔ぬぐい液	RS ウイルス B 型
中原区	女	1	H31.1.16	鼻腔ぬぐい液	RS ウイルス B 型

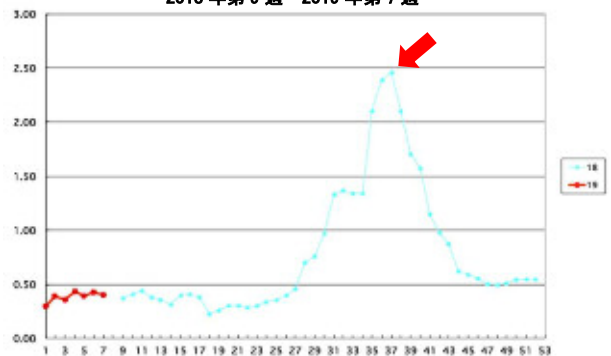
### 【全国及びその他】

全国的には 8 月下旬から 10 月上旬にかけて高いレベルで推移しました。

全国における RS ウイルス感染症発生状況(報告数)  
-2008 年第 1 週～2018 年第 9 週-



全国における RS ウイルス感染症発生状況(定点当たり報告数)  
-2018 年第 9 週～2019 年第 7 週-



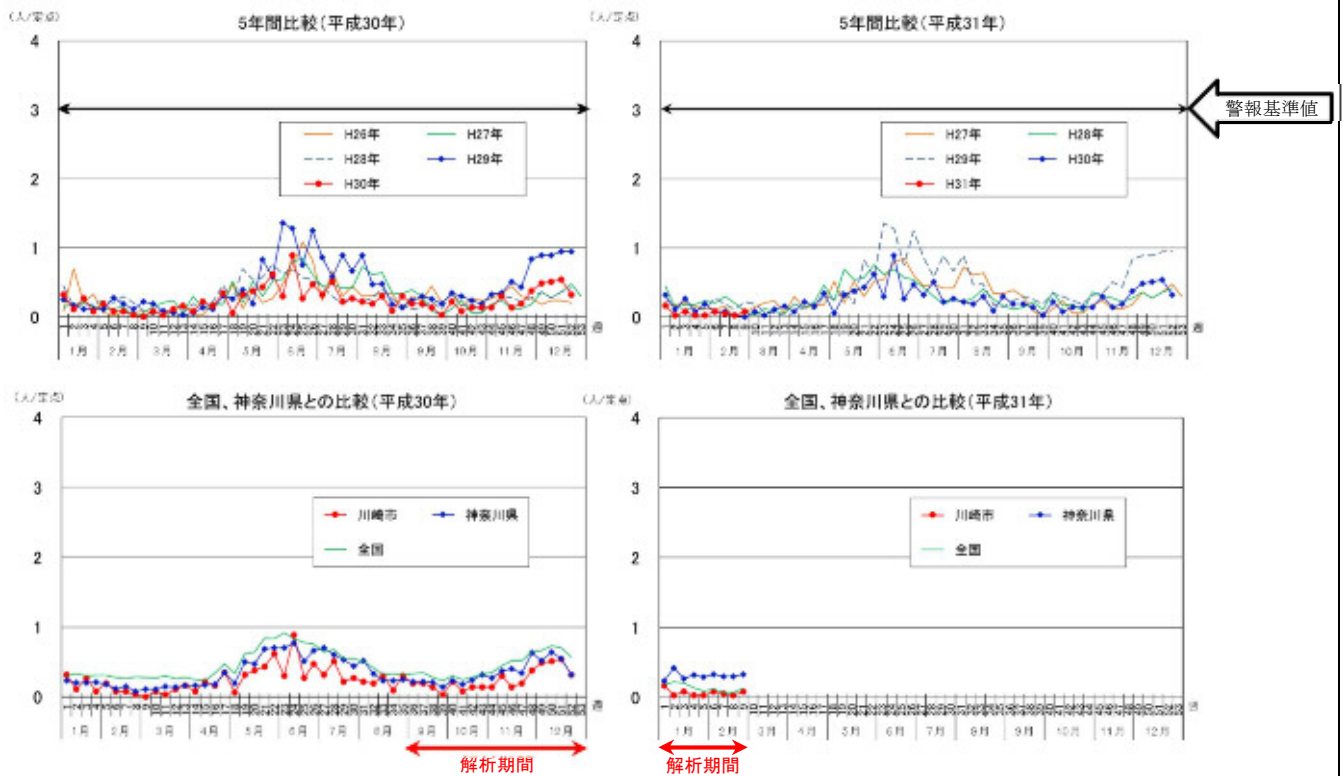
※2018 年第 9 週(2 月 26 日～3 月 4 日)から、国立感染症研究所における RS ウイルス感染症の集計方法が変更となりました。(報告数→定点当たり報告数)

## 咽頭結膜熱(警報基準値:定点当たり3人)

### 【川崎市】

今期は定点当たり 0.18 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 0.58 倍で、例年より低いレベルで推移しました。

今期、流行発生警報基準値 (3) 以上となった週はありませんでした。

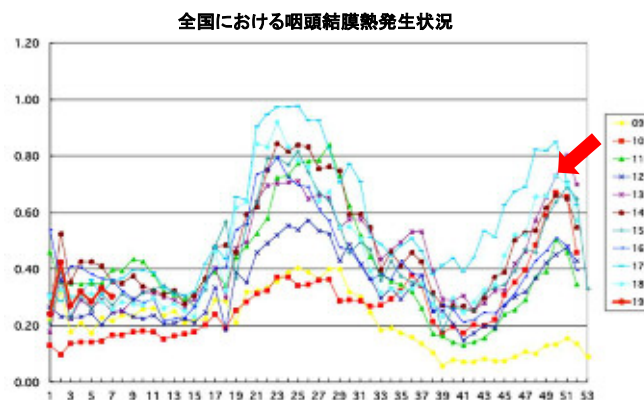


なお、病原体定点からの病原体検出状況は次のとおりです。

区名	患者性別	患者年齢	検体採取日	検査材料	検査結果
中原区	女	1	H30.9.12	咽頭ぬぐい液	アデノウイルス 3 型
中原区	女	1	H30.11.19	咽頭ぬぐい液	アデノウイルス 41 型
幸区	男	2	H30.12.10	咽頭ぬぐい液	アデノウイルス 3 型
幸区	男	5	H30.12.18	咽頭ぬぐい液	アデノウイルス 3 型
中原区	男	5	H30.12.21	咽頭ぬぐい液	アデノウイルス 3 型

### 【全国及びその他】

全国的には例年よりやや高いレベルで推移しました。

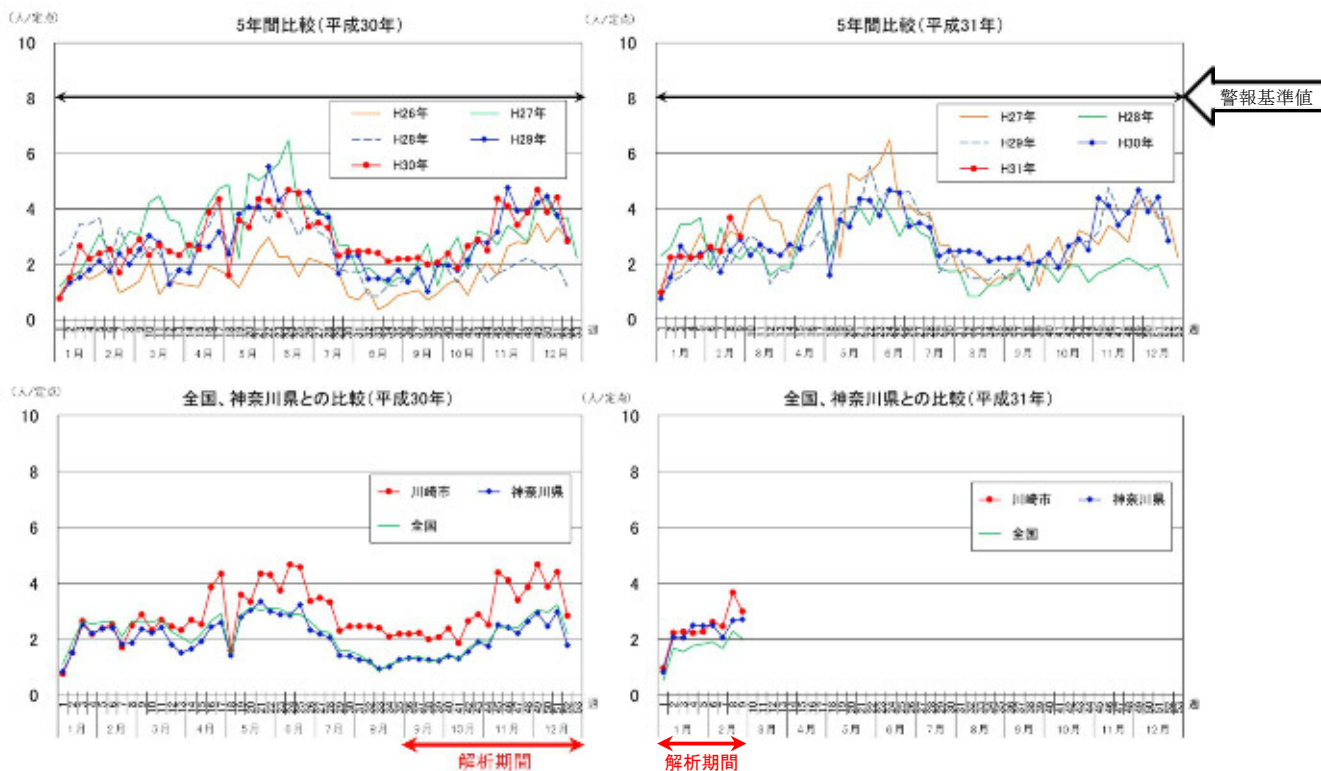


## A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(警報基準値:定点当たり8人)

### 【川崎市】

今期は定点当たり 2.87 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 1.36 倍で、例年より高いレベルで推移しました。

今期、流行発生警報基準値 (8) 以上となった週は、高津区で第 45 週 (8.33 人)、宮前区で第 51 週 (8.67 人) でした。

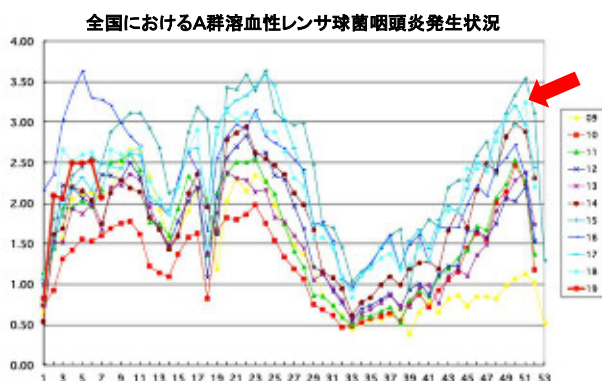


なお、病原体定点からの病原体検出状況は次のとおりです。

区名	患者性別	患者年齢	検体採取日	検査材料	検査結果
中原区	男	3	H30.9.14	咽頭ぬぐい液	A 群溶血性レンサ球菌 TB3264
中原区	男	2	H30.10.1	咽頭ぬぐい液	A 群溶血性レンサ球菌 TB3264
多摩区	男	4	H30.10.11	咽頭ぬぐい液	A 群溶血性レンサ球菌 TB3264
高津区	女	9	H30.10.15	咽頭ぬぐい液	A 群溶血性レンサ球菌 T2
中原区	男	7	H30.11.7	咽頭ぬぐい液	A 群溶血性レンサ球菌 T12
多摩区	男	11	H30.11.12	咽頭ぬぐい液	A 群溶血性レンサ球菌 T28
中原区	女	5	H30.12.8	咽頭ぬぐい液	A 群溶血性レンサ球菌 T25
中原区	男	4	H31.1.19	咽頭ぬぐい液	A 群溶血性レンサ球菌 TB3264
多摩区	男	8	H31.1.30	咽頭ぬぐい液	A 群溶血性レンサ球菌 型別不能
中原区	男	2	H31.2.5	咽頭ぬぐい液	不検出

### 【全国及びその他】

全国的にも例年よりやや高いレベルで推移しました。



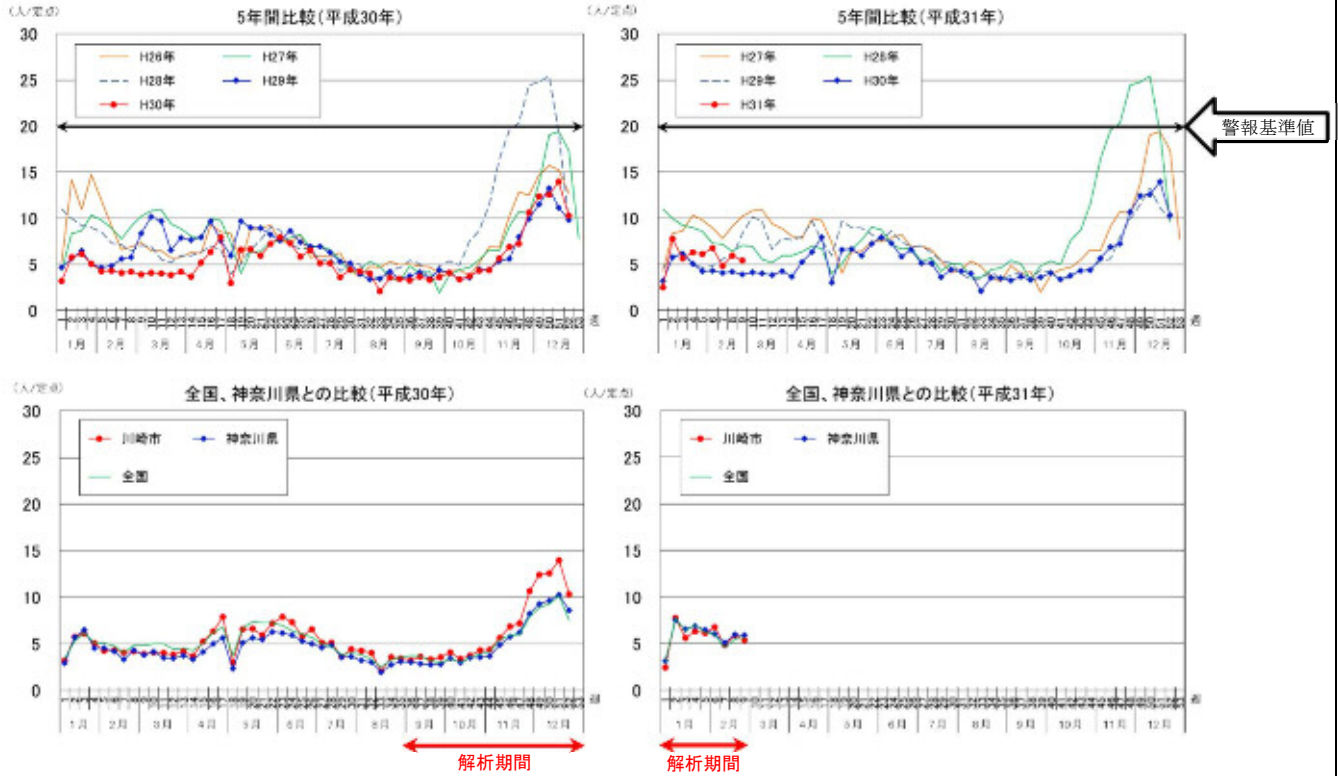


# 感染性胃腸炎(警報基準値: 定点当たり 20 人)

## 【川崎市】

今期は定点当たり 6.37 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 0.73 倍で、例年よりやや低いレベルで推移しました。

今期、流行発生警報基準値 (20) 以上となった週は、高津区で第 49 週 (21.50 人)、第 50 週 (21.00 人) 及び第 51 週 (20.00 人) でした。

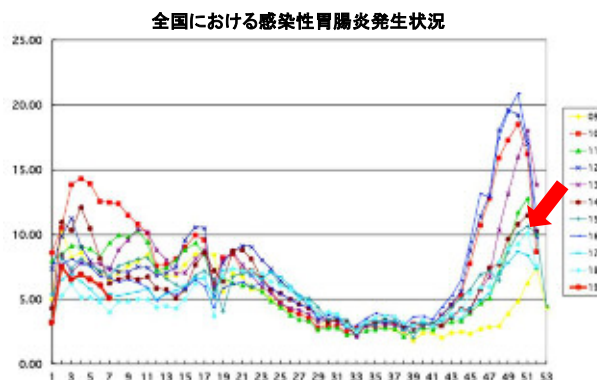


なお、病原体定点からの病原体検出状況は次のとおりです。

区名	患者性別	患者年齢	検体採取日	検査材料	検査結果(ウイルス)	検査結果(細菌)
多摩区	男	1	H30.12.6	ふん便	ノロウイルス GII.4	黄色ブドウ球菌 SEA

## 【全国及びその他】

全国的にも例年よりやや低いレベルで推移しました。

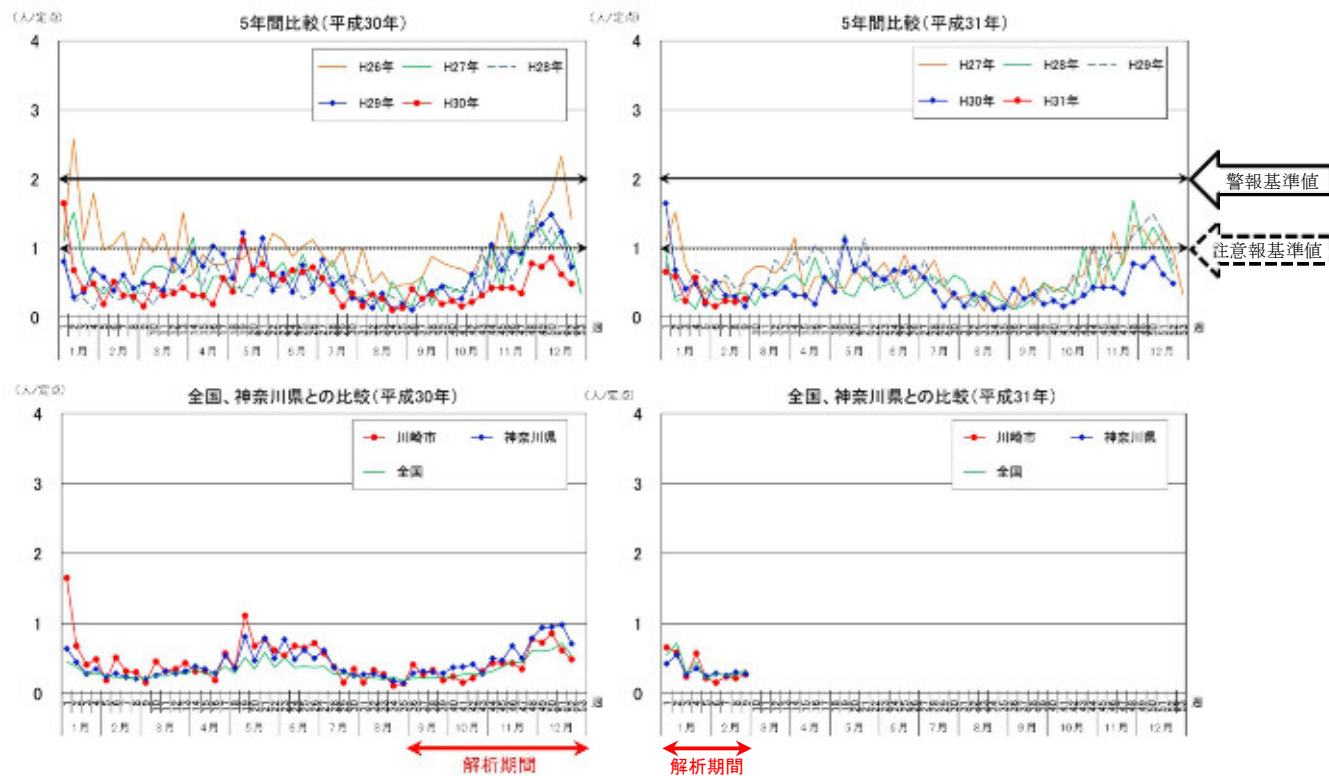


## 水痘(警報基準値:定点当たり2人、注意報基準値:定点当たり1人)

### 【川崎市】

今期は定点当たり 0.40 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 0.53 倍で、例年より低いレベルで推移しました。

今期、流行発生注意報基準値 (1) 以上となった週は、幸区で第 47 週、麻生区で第 48 週及び第 49 週、川崎区で第 49 週、第 51 週及び第 1 週、宮前区で第 49 週、第 51 週、第 52 週、第 2 週及び第 4 週、中原区で第 50 週、高津区で第 4 週、多摩区で第 9 週でした。また、流行発生警報基準値 (2) 以上となった週は、宮前区で第 48 週、第 50 週及び第 1 週でした。

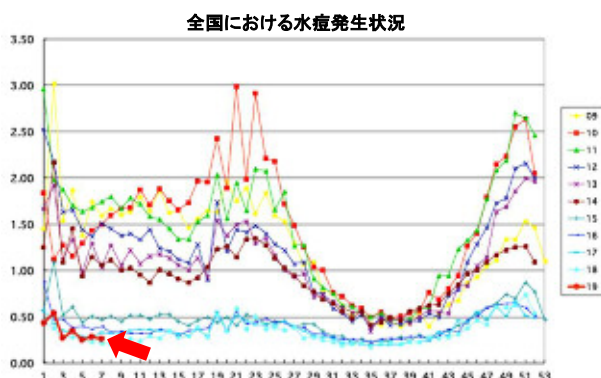


なお、病原体定点からの病原体検出状況は次のとおりです。

区名	患者性別	患者年齢	検体採取日	検査材料	検査結果
中原区	男	9	H30.12.15	咽頭ぬぐい液	陰性

### 【全国及びその他】

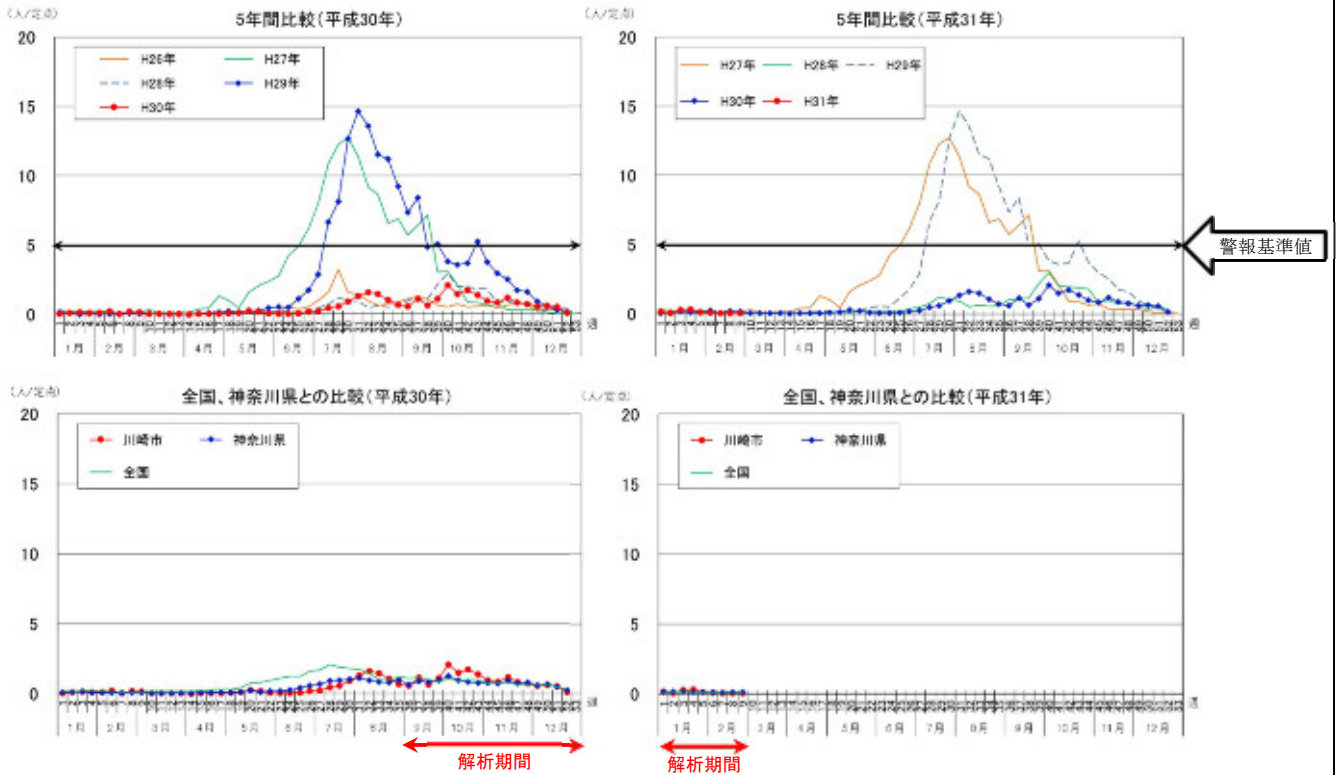
全国的にも例年より低いレベルで推移しました。



# 手足口病(警報基準値:定点当たり5人)

## 【川崎市】

今期は定点当たり 0.68 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 0.61 倍で、例年より低いレベルで推移しました。第 40 週から第 43 週まで患者報告数がやや増加しましたが、その後は減少しました。今期、流行発生警報基準値 (5) 以上となった週はありませんでした。

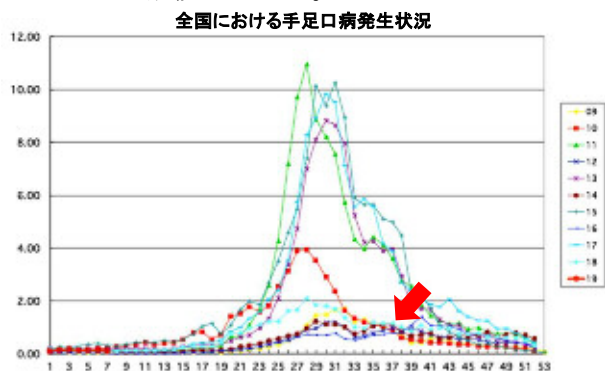


なお、病原体定点からの病原体検出状況は次のとおりです。

区名	患者性別	患者年齢	検体採取日	検査材料	検査結果
中原区	女	2	H30.9.3	咽頭ぬぐい液	エンテロウイルス 71 型
多摩区	女	11 か月	H30.9.11	咽頭ぬぐい液	エンテロウイルス 71 型
多摩区	男	5	H30.9.20	咽頭ぬぐい液	ヘルペスウイルス 6 型 ヘルペスウイルス 7 型
多摩区	女	3	H30.10.2	咽頭ぬぐい液	コクサッキーウイルス A16 型
高津区	女	4	H30.11.2	咽頭ぬぐい液	コクサッキーウイルス A16 型
高津区	男	6	H30.11.12	咽頭ぬぐい液	陰性
中原区	男	1	H30.11.13	咽頭ぬぐい液	コクサッキーウイルス A16 型
中原区	男	1	H30.12.8	咽頭ぬぐい液	コクサッキーウイルス A16 型 ライノウイルス A
多摩区	男	3	H30.12.10	咽頭ぬぐい液	コクサッキーウイルス A16 型
多摩区	男	2	H30.12.12	咽頭ぬぐい液	コクサッキーウイルス A16 型 ライノウイルス A
高津区	男	6	H31.2.5	咽頭ぬぐい液	コクサッキーウイルス A16 型

## 【全国及びその他】

全国的にも例年よりやや低いレベルで推移しました。

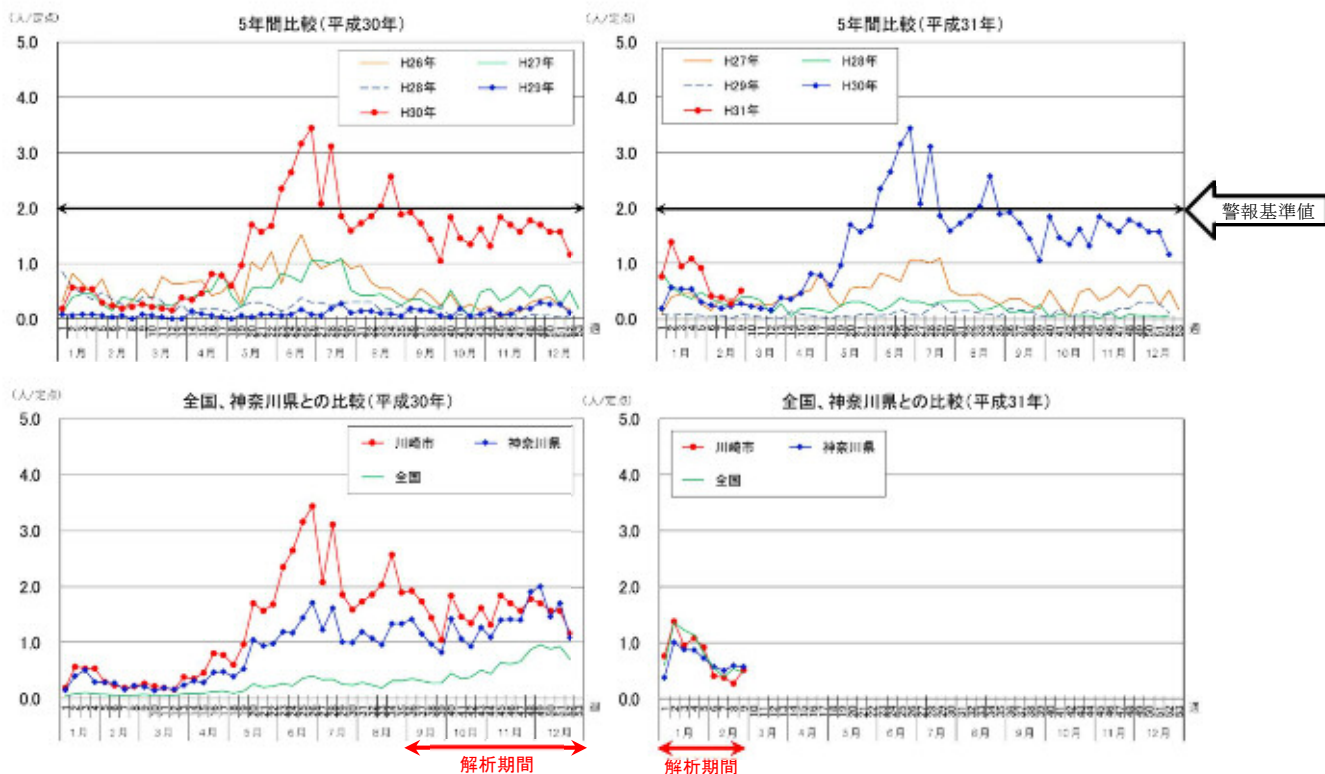


## 伝染性紅斑(警報基準値:定点当たり2人)

### 【川崎市】

今期は定点当たり 1.28 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 4.64 倍で、例年よりかなり高いレベルで推移しました。平成 30 年 5 月以降定点当たり報告数が増加し、例年よりかなり高いレベルで推移していましたが、2 月以降患者報告数は減少しました。

今期、流行発生警報基準値 (2) 以上となった週は、高津区で第 36 週、第 37 週、第 40 週、第 49 週及び第 50 週、宮前区で第 36 週～第 38 週、第 40 週～第 43 週及び第 46 週、多摩区で第 36 週及び第 40 週、中原区で第 40 週～第 42 週及び第 44 週～第 49 週、幸区で第 43 週、第 45 週、第 46 週、第 48 週、第 50 週、第 51 週、第 2 週及び第 4 週、川崎区で第 45 週、第 46 週、第 48 週～第 3 週及び第 5 週でした。

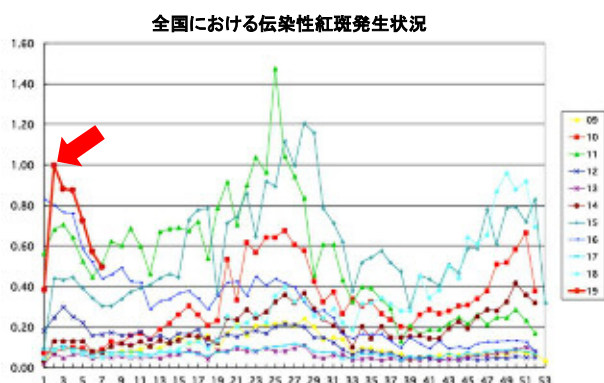


なお、病原体定点からの病原体検出状況は次のとおりです。

区名	患者性別	患者年齢	検体採取日	検査材料	検査結果
多摩区	女	5	H30.9.3	咽頭ぬぐい液	ヒトヘルペスウイルス 7 型
中原区	男	3	H30.9.5	咽頭ぬぐい液	陰性
川崎区	女	4	H30.9.8	咽頭ぬぐい液	ヒトヘルペスウイルス 7 型
中原区	男	3	H30.11.2	咽頭ぬぐい液	パルボウイルス B19
中原区	男	6	H30.12.4	咽頭ぬぐい液	陰性
中原区	男	5	H31.2.5	尿	陰性

### 【全国及びその他】

全国的にも例年より高いレベルで推移しました。



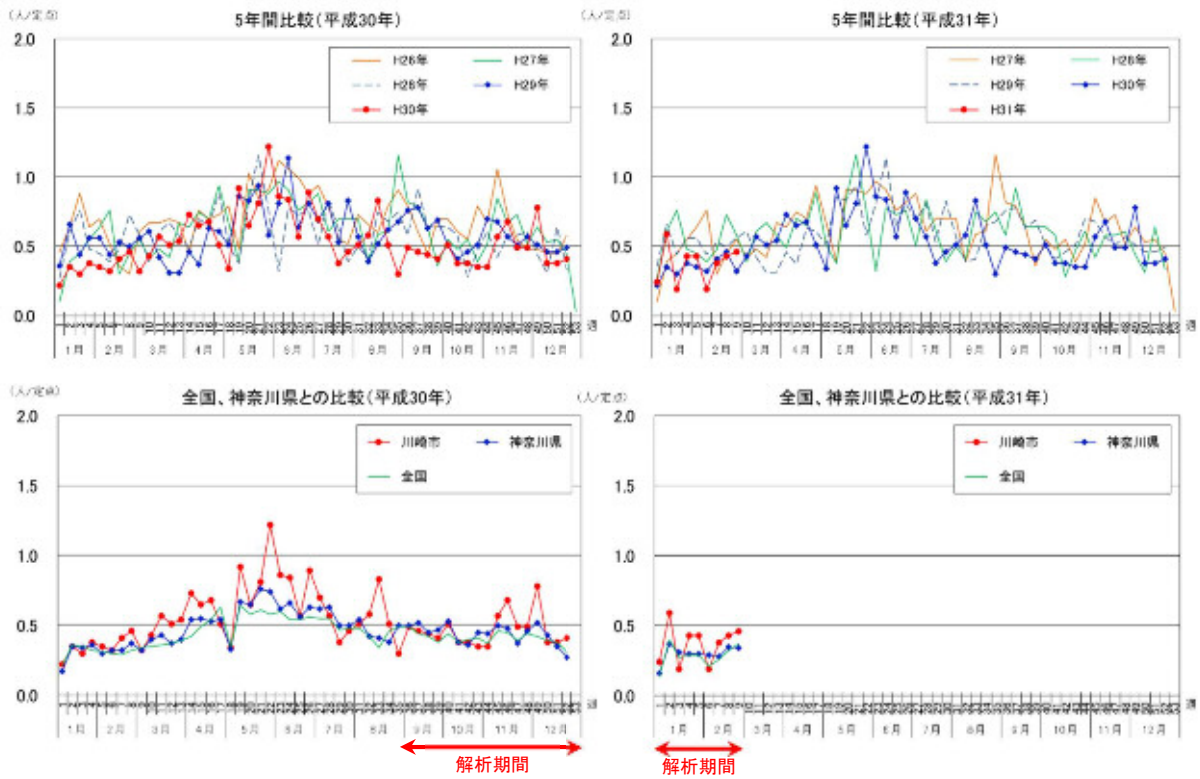


# 突発性発しん

## 【川崎市】

今期は定点当たり 0.44 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 0.78 倍で、例年よりやや低いレベルで推移しました。

また、年齢階級別では 1 歳以下が 83.1%を占めていました。

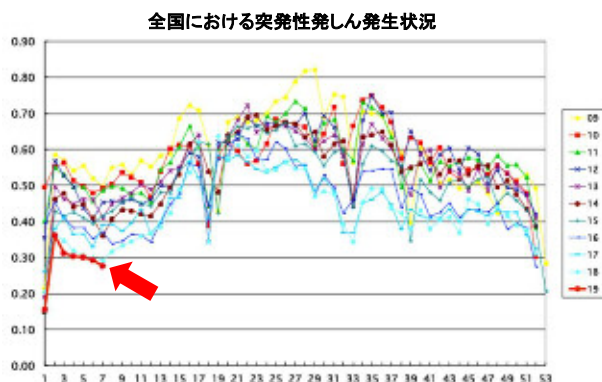


なお、病原体定点からの病原体検出状況は次のとおりです。

区名	患者性別	患者年齢	検体採取日	検査材料	検査結果
中原区	男	10 か月	H30.9.6	咽頭ぬぐい液	陰性

## 【全国及びその他】

全国的にも例年より低いレベルで推移しました。

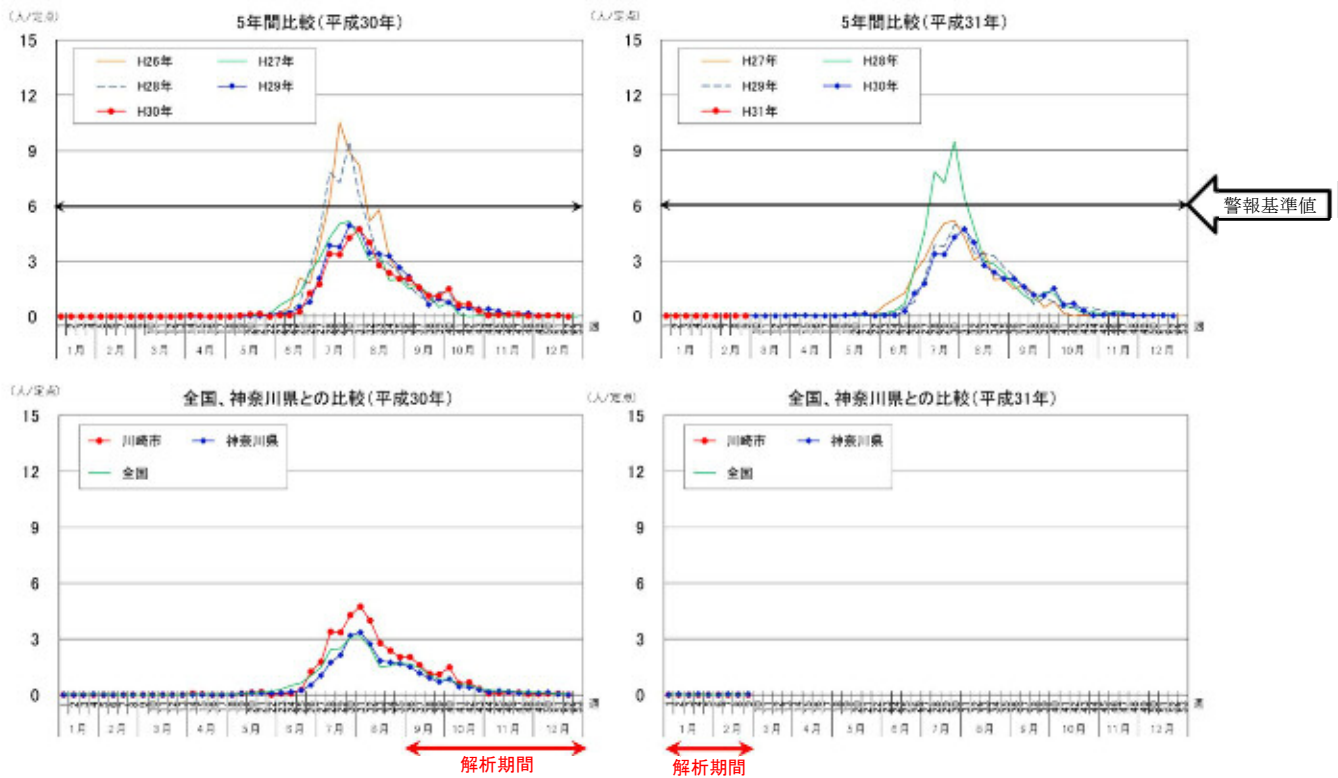


# ヘルパンギーナ(警報基準値: 定点当たり 6 人)

## 【川崎市】

今期は定点当たり 0.37 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 1.28 倍で、例年よりやや高いレベルで推移しました。

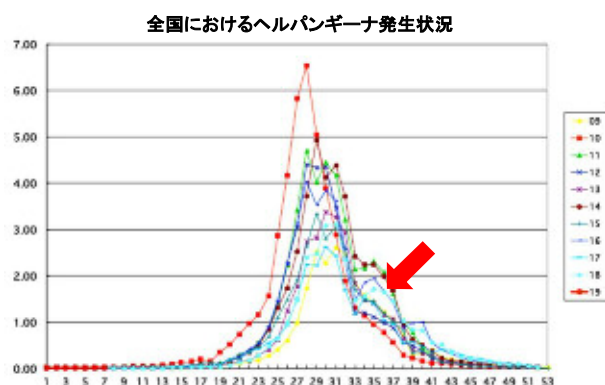
今期、流行発生警報基準値 (6) 以上となった週はありませんでした。



なお、病原体定点からの検体の提供はありませんでした。

## 【全国及びその他】

全国的には例年並みのレベルで推移しました。

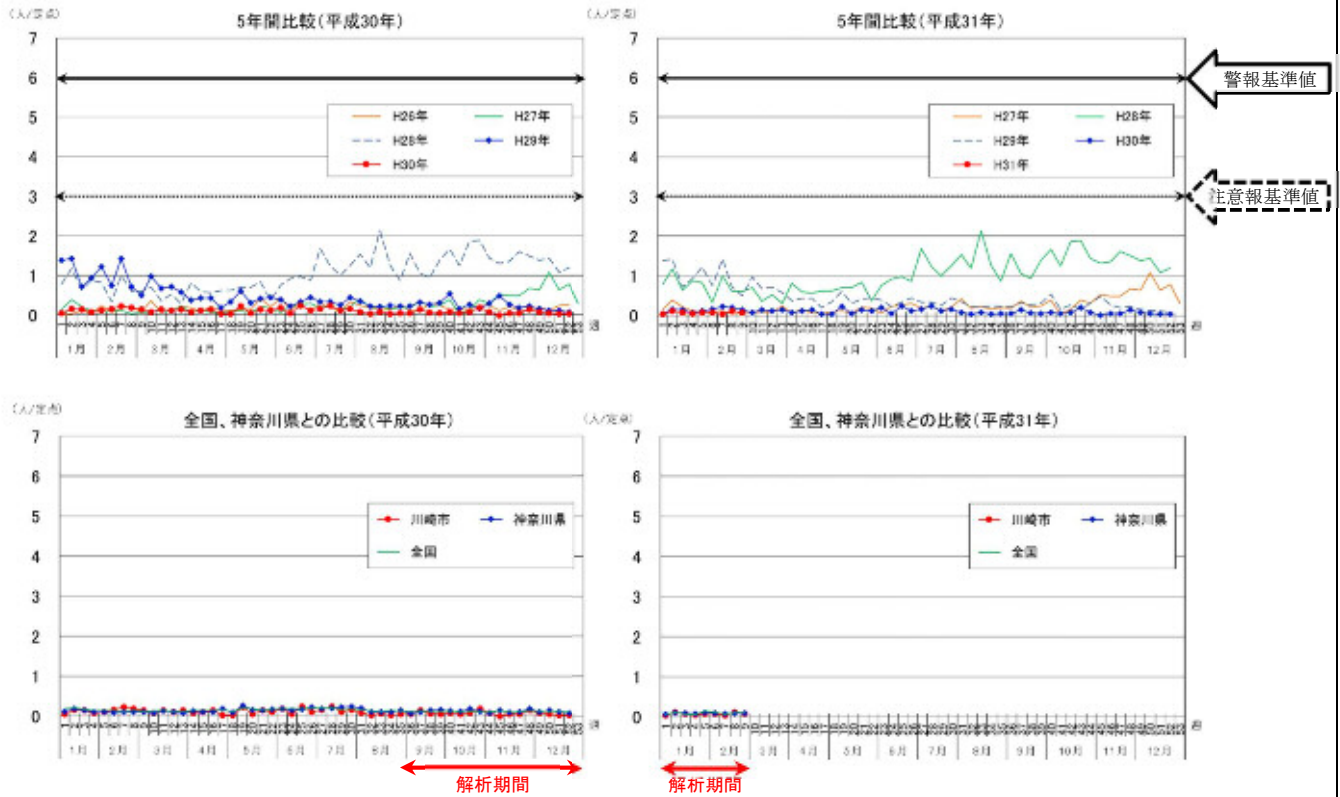


流行性耳下腺炎(警報基準値:定点当たり6人、注意報基準値:定点当たり3人)

【川崎市】

今期は定点当たり0.07人の報告があり、過去5年平均の報告数と比較すると0.15倍で、例年よりかなり低いレベルで推移しました。

今期、流行発生注意報基準値(3)以上となった週はありませんでした。

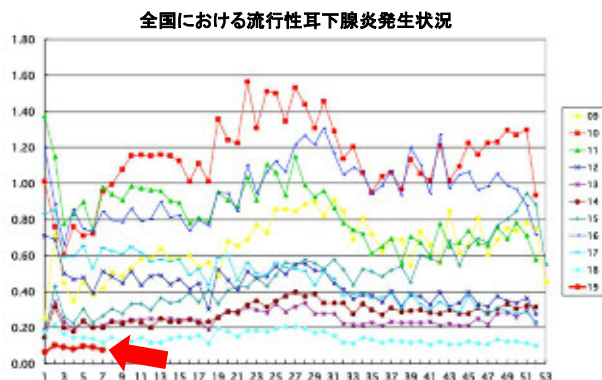


なお、病原体定点からの病原体検出状況は次のとおりです。

区名	患者性別	患者年齢	検体採取日	検査材料	検査結果
中原区	男	1	H30.10.9	咽頭ぬぐい液	陰性
中原区	女	6	H30.11.20	咽頭ぬぐい液	陰性

【全国及びその他】

全国的にも例年よりかなり低いレベルで推移しました。

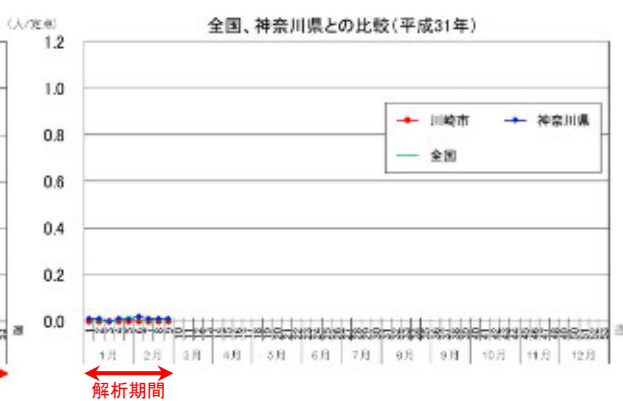
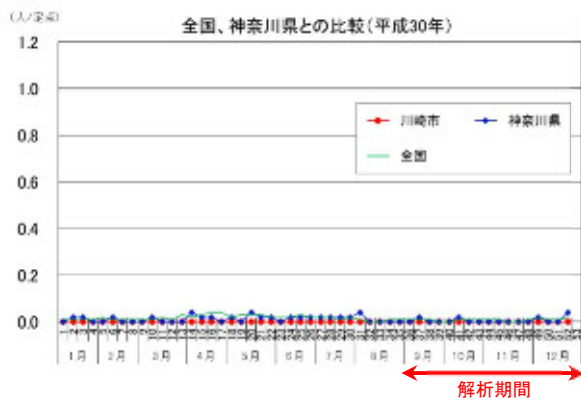
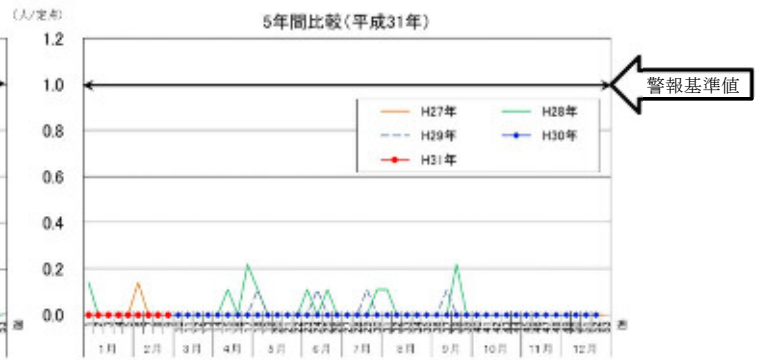
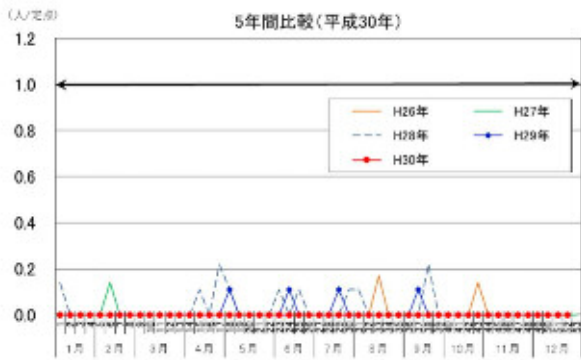


## <眼科定点対象疾患>

急性出血性結膜炎(警報基準値:定点当たり1人)

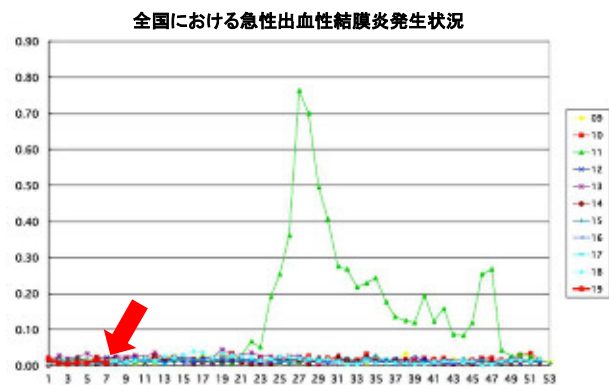
### 【川崎市】

今期は報告がありませんでした。



### 【全国及びその他】

全国的には例年並みのレベルで推移しました。



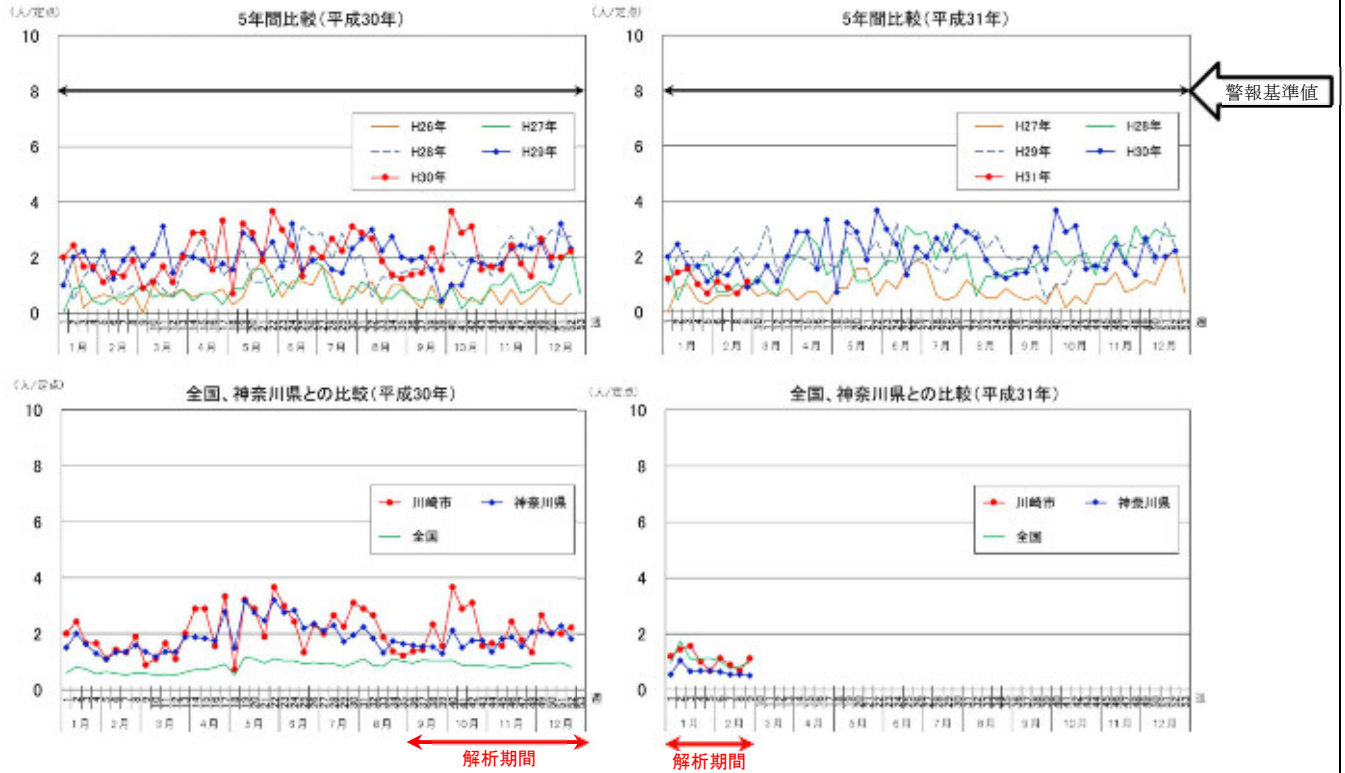


## 流行性角結膜炎(警報基準値:定点当たり8人)

### 【川崎市】

今期は定点当たり 1.75 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 1.44 倍で、例年より高いレベルで推移しました。特に 10 月は例年より高いレベルで推移し、第 40 週には定点当たり 3.67 人となり、第 22 週に引き続き過去 10 年間で最多の報告数となりました。

今期、流行発生警報基準値 (8) 以上となった週は、高津区で第 40 週 (9.00 人)、麻生区で第 49 週 (9.00 人) でした。

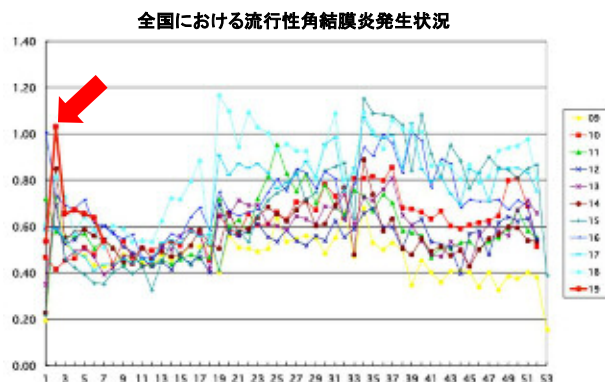


なお、病原体定点からの病原体検出状況は次のとおりです。

区名	患者性別	患者年齢	検体採取日	検査材料	検査結果
川崎区	女	25	H30.11.12	眼脂	アデノウイルス 54 型
川崎区	男	21	H30.11.13	眼脂	アデノウイルス 56 型

### 【全国及びその他】

全国的にも例年より高いレベルで推移しました。

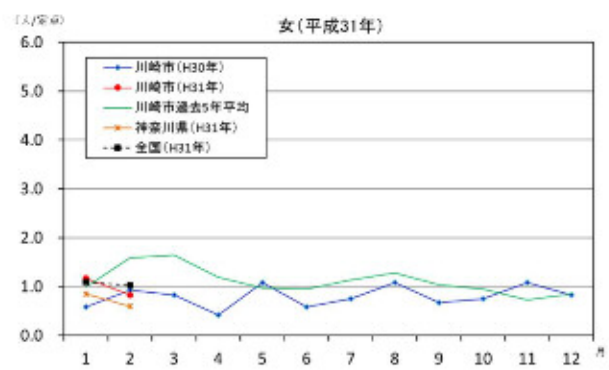
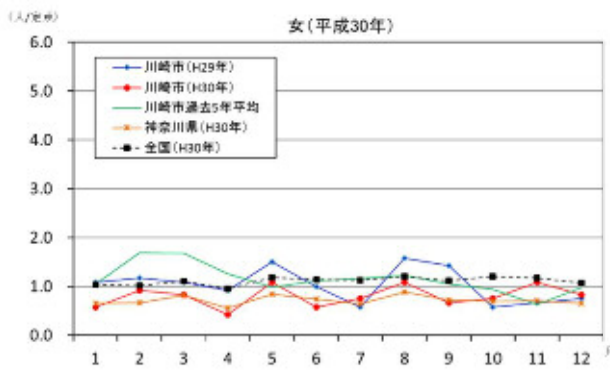
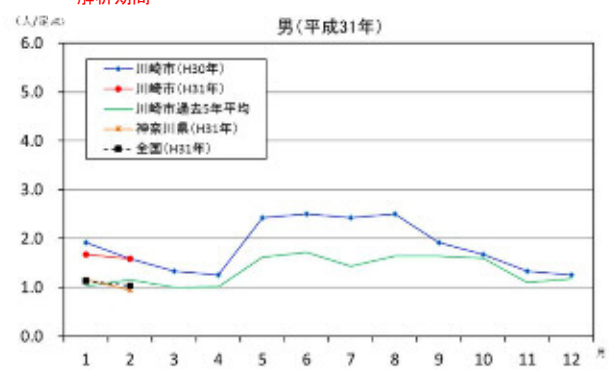
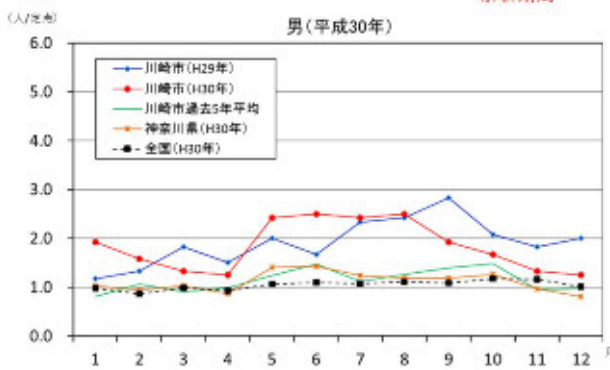
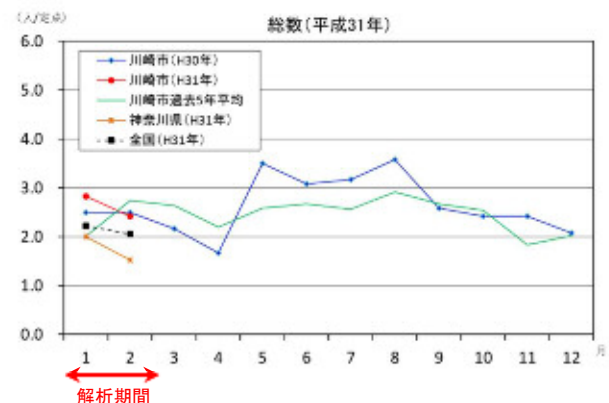
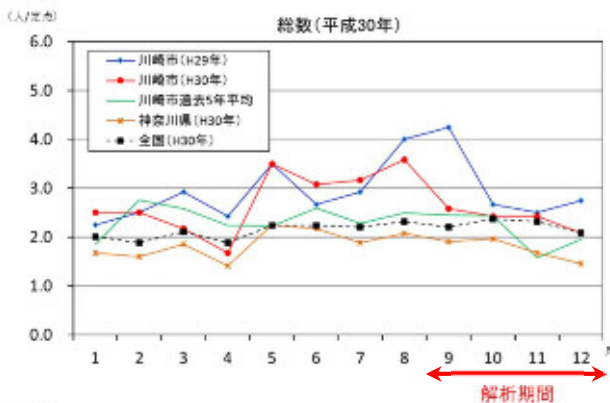


# <性感染症定点対象疾患>

## 性器クラミジア感染症

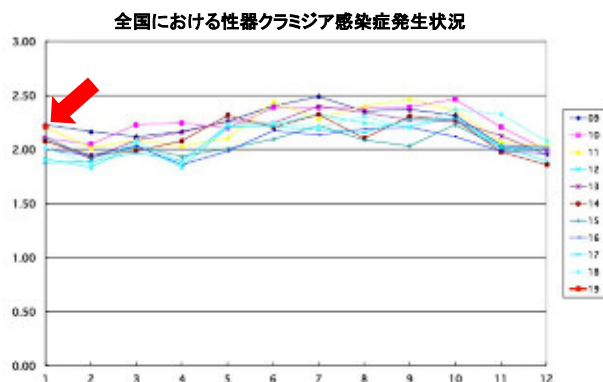
### 【川崎市】

今期は定点当たり 2.46 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 1.12 倍で、例年よりやや高いレベルで推移しました。



### 【全国及びその他】

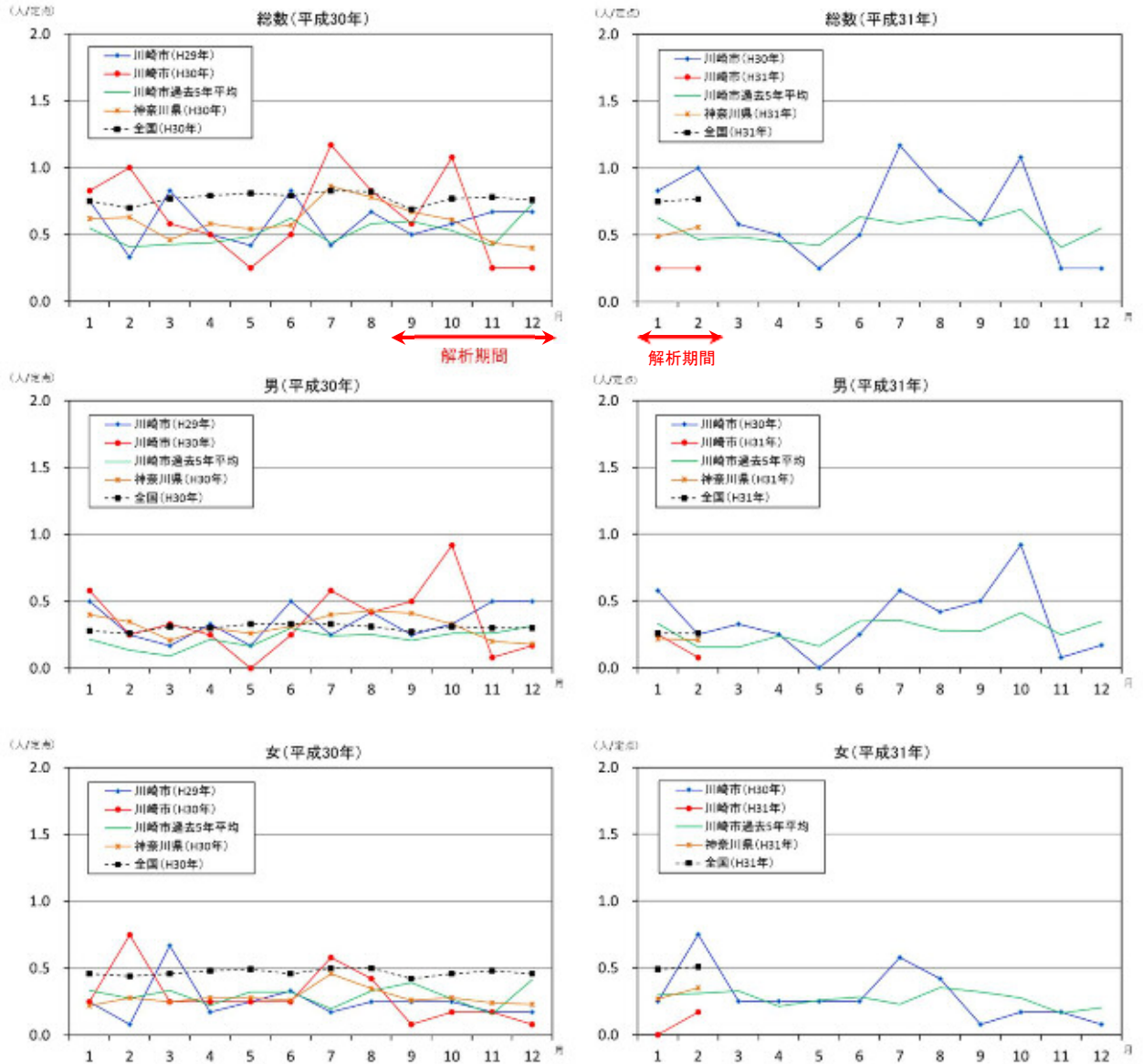
全国的にも例年よりやや高いレベルで推移しました。



# 性器ヘルペスウイルス感染症

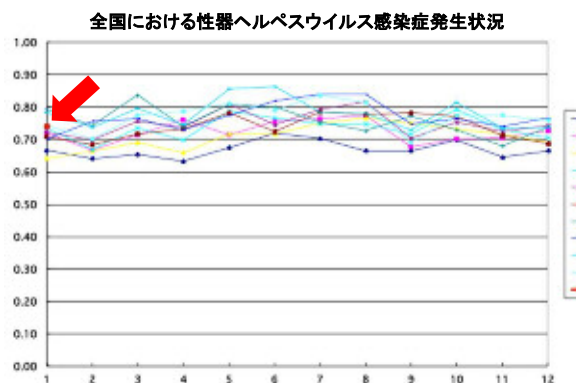
## 【川崎市】

今期は定点当たり 0.44 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 0.78 倍で、例年よりやや低いレベルで推移しました。



## 【全国及びその他】

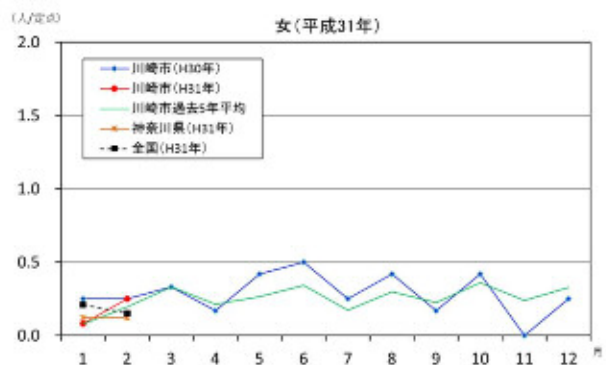
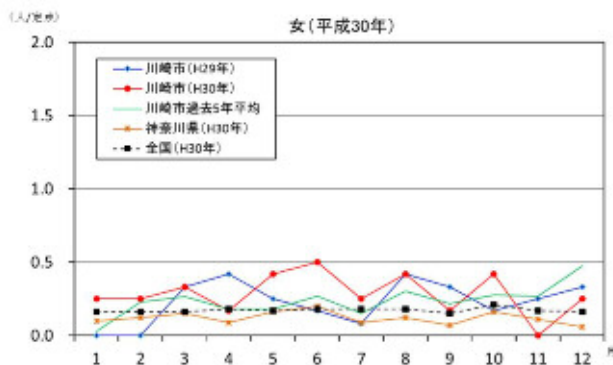
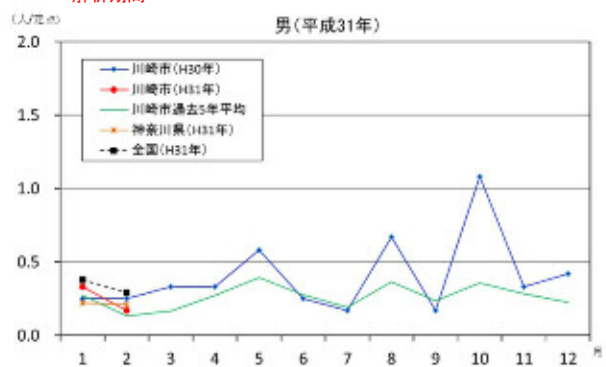
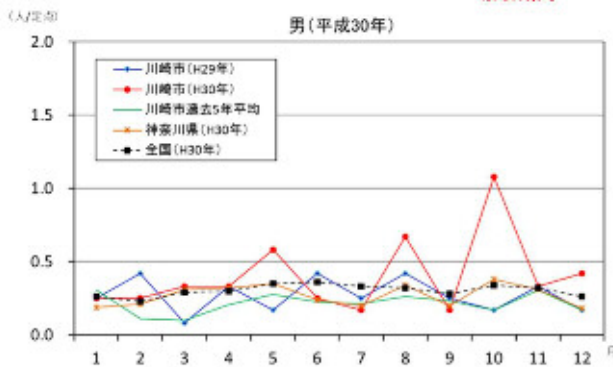
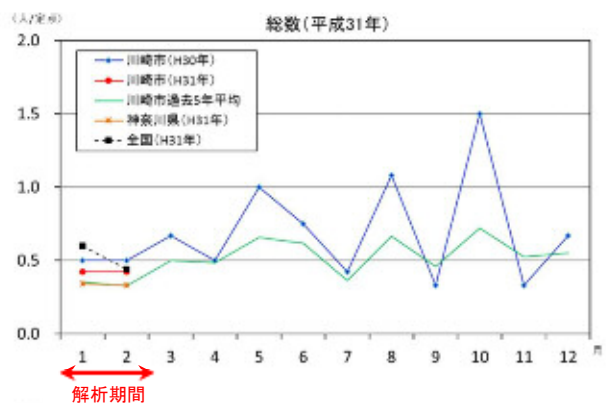
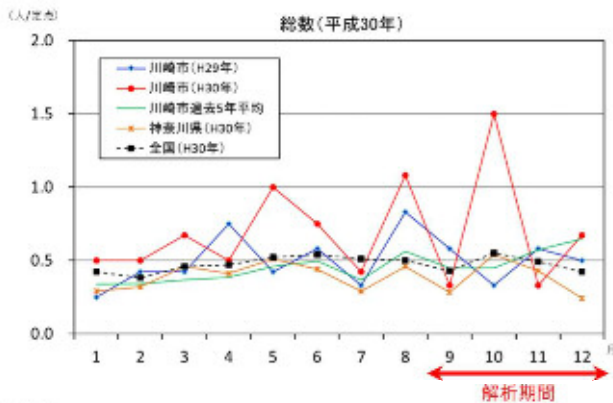
全国的には例年並みのレベルで推移しました。



# 尖圭コンジローマ

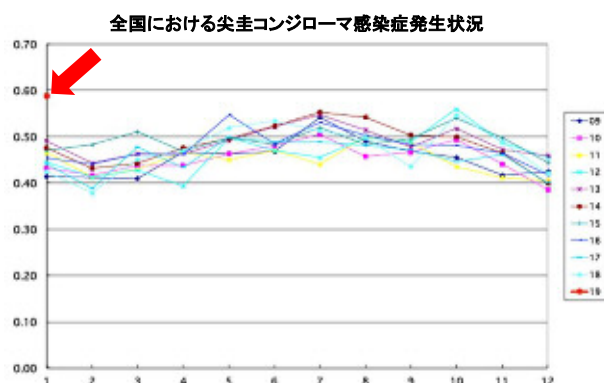
## 【川崎市】

今期は定点当たり 0.61 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 1.31 倍で、例年より高いレベルで推移しました。特に男性は、10 月に報告数が増加しました。



## 【全国及びその他】

全国的にも例年より高いレベルで推移しました。

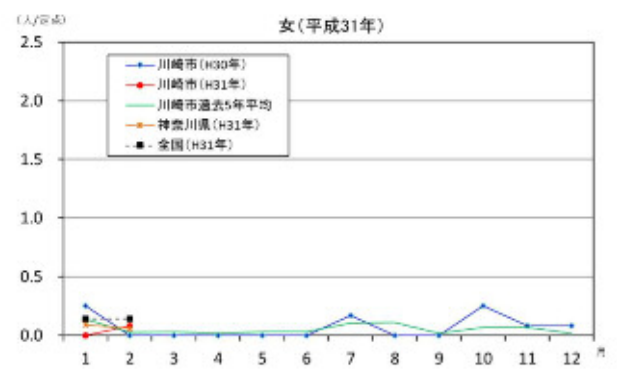
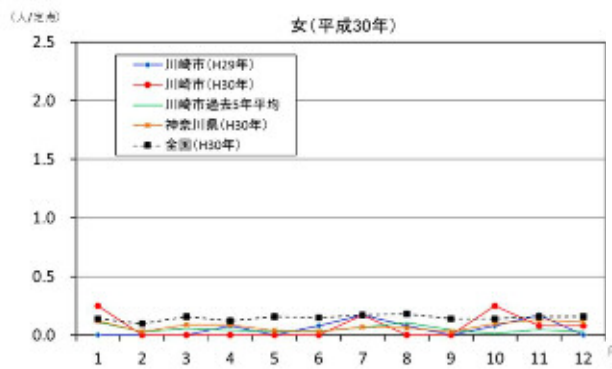
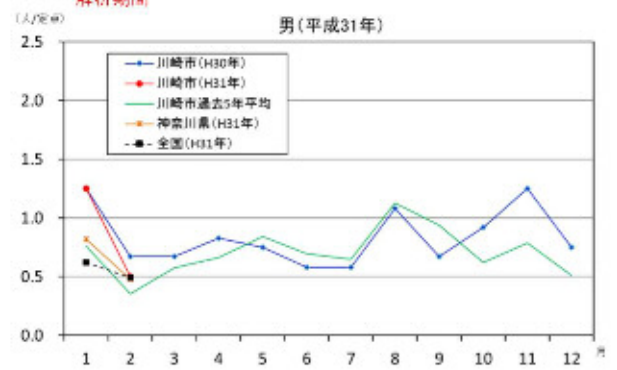
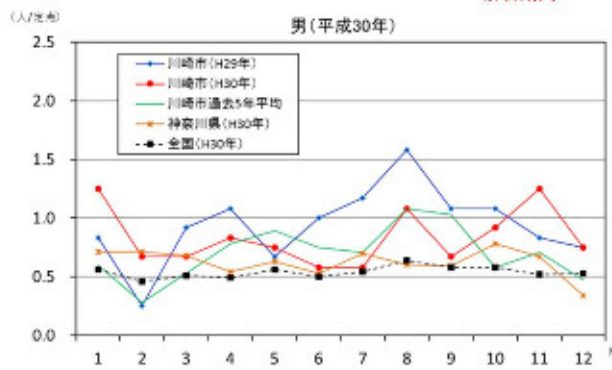
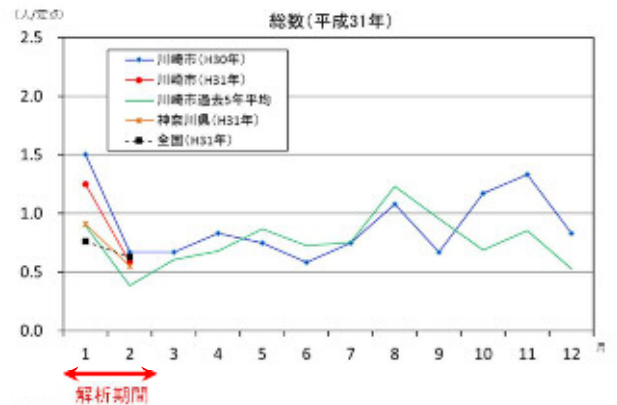
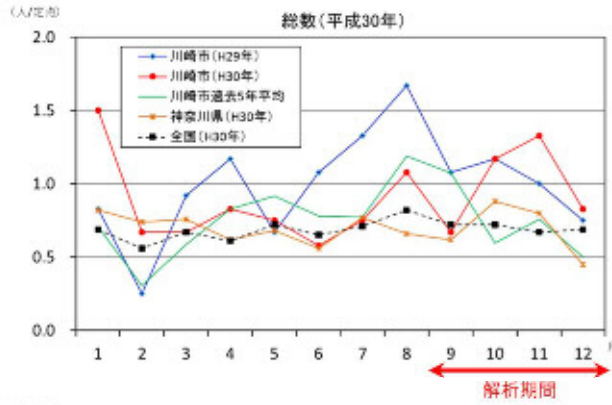




# 淋菌感染症

## 【川崎市】

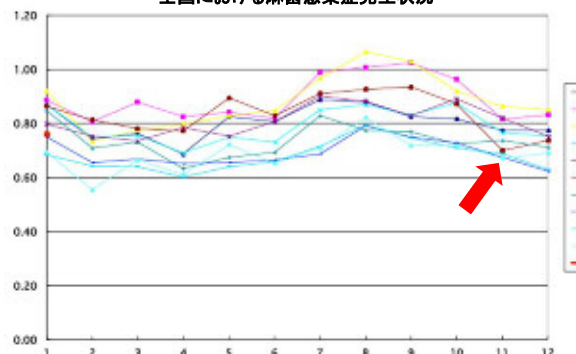
今期は定点当たり 0.97 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 1.38 倍で、例年より高いレベルで推移しました。特に男性の報告数が多く、全体の 91.4% を占めていました。



## 【全国及びその他】

全国的には例年より低いレベルで推移しました。

全国における淋菌感染症発生状況

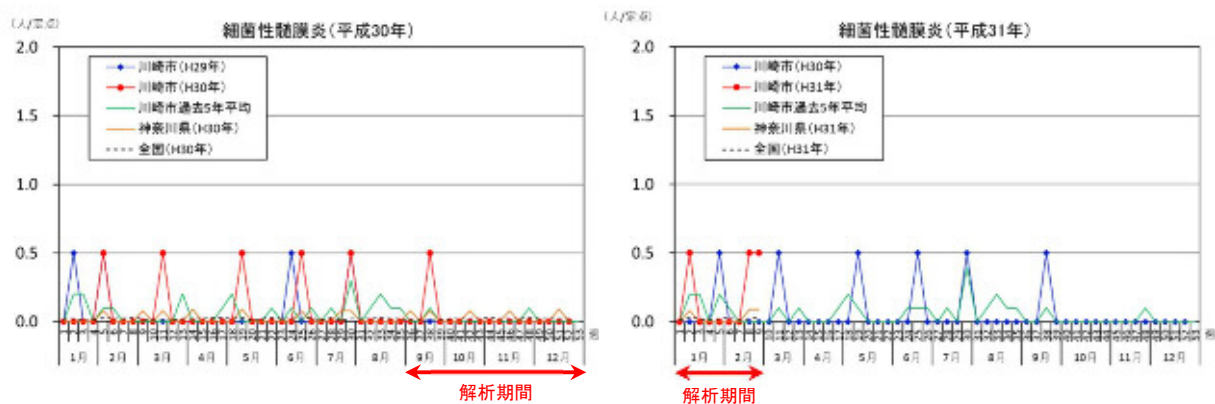


## <基幹定点対象疾患（週報）>

### 細菌性髄膜炎

#### 【川崎市】

今期は定点当たり 0.08 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 2.22 倍で、例年よりかなり高いレベルで推移しました。

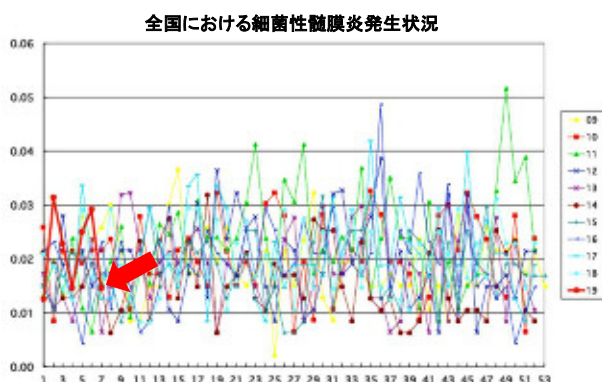


なお、検出された病原菌は次のとおりです。

区名	患者性別	患者年齢	届出週	検査材料	検査結果
川崎区	女	1 か月	第 38 週	血液	<i>Streptococcus agalactiae</i>
川崎区	女	3 日	第 2 週	血液	<i>Streptococcus agalactiae</i>
宮前区	男	53	第 8 週	髄液	<i>Enterobacter sp.</i>
宮前区	男	46	第 9 週	髄液	<i>Escherichia coli</i>

#### 【全国及びその他】

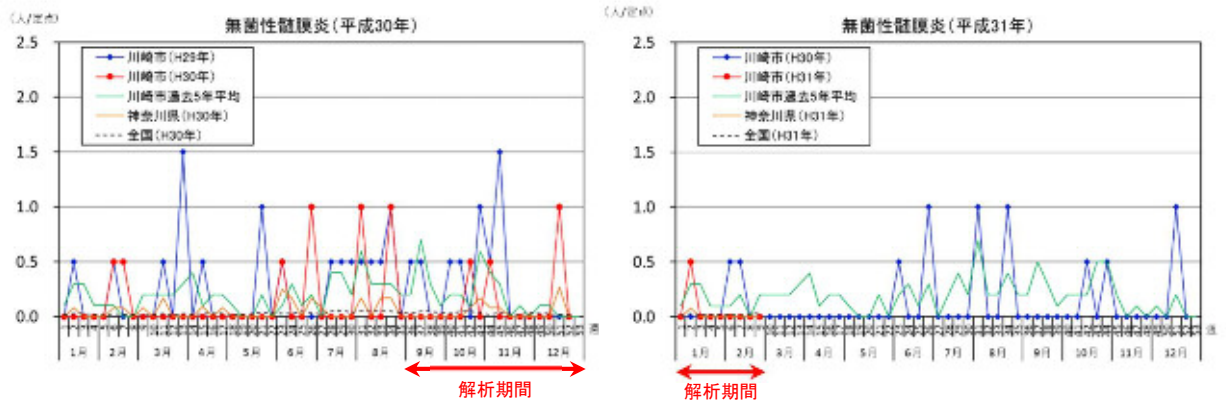
全国的には例年並みのレベルで推移しました。



# 無菌性髄膜炎

## 【川崎市】

今期は定点当たり 0.10 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 0.55 倍で、例年より低いレベルで推移しました。

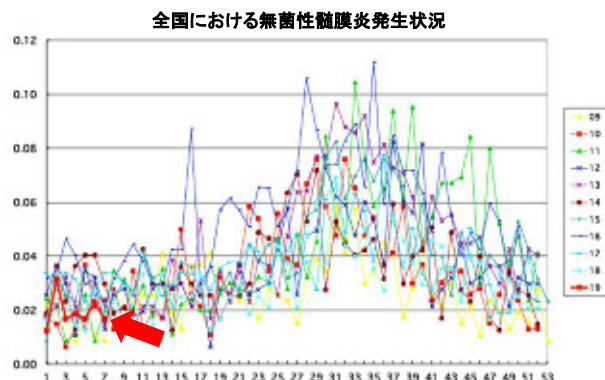


なお、病原体定点からの病原体検出状況は次のとおりです。

区名	患者性別	患者年齢	検体採取日	検査材料	検査結果
川崎区	男	22 日	H30.10.12	髄液	エコーウイルス 11 型
川崎区	男	0 日	H30.10.31	髄液	コクサッキーウイルス B5 型
川崎区	女	33	H30.11.20	髄液	陰性
川崎区	男	1 か月	H30.12.17	髄液	コクサッキーウイルス B5 型
川崎区	女	79	H30.12.17	髄液	陰性
川崎区	男	47	H31.1.10	髄液	水痘・帯状疱疹ウイルス
川崎区	女	0 日	H31.1.24	髄液	陰性

## 【全国及びその他】

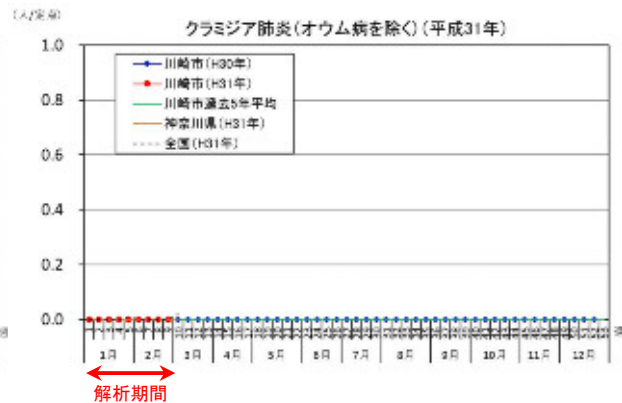
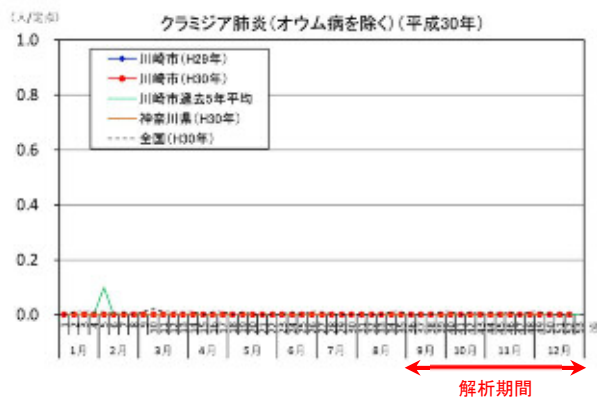
全国的には例年並みのレベルで推移しました。



## クラミジア肺炎(オウム病を除く)

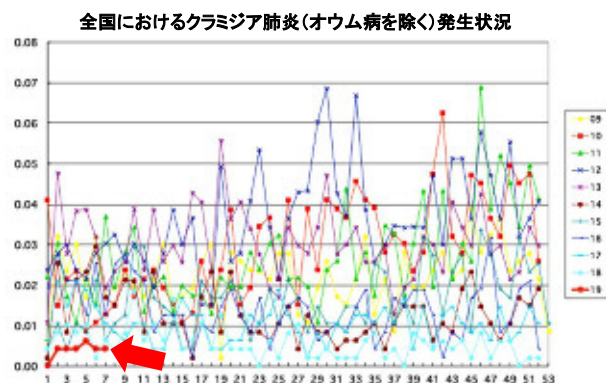
### 【川崎市】

今期は報告がありませんでした。



### 【全国及びその他】

全国的には例年より低いレベルで推移しました。

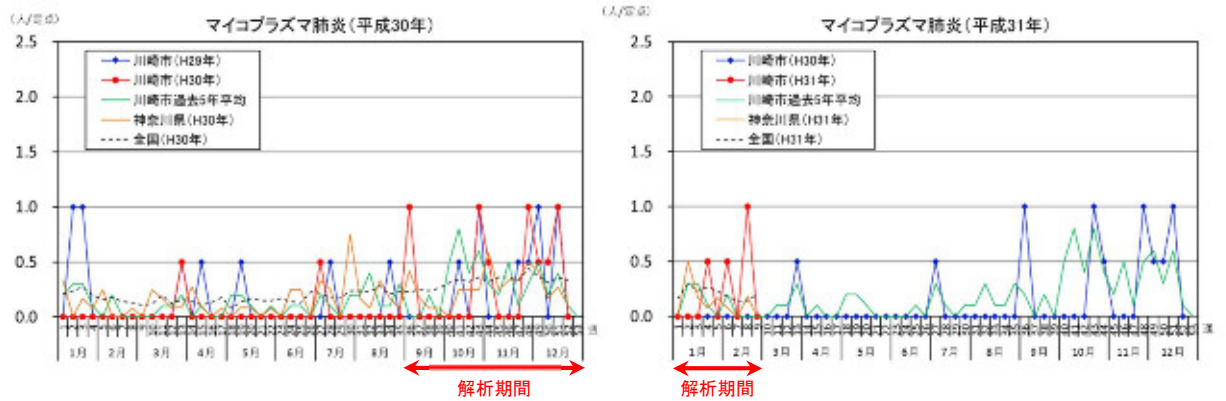




## マイコプラズマ肺炎

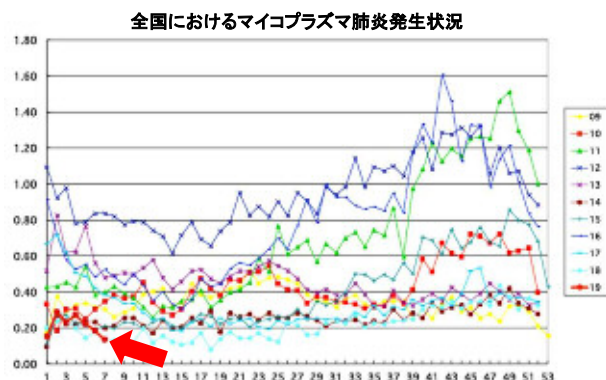
### 【川崎市】

今期は定点当たり 0.29 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 1.27 倍で、例年よりやや高いレベルで推移しました。



### 【全国及びその他】

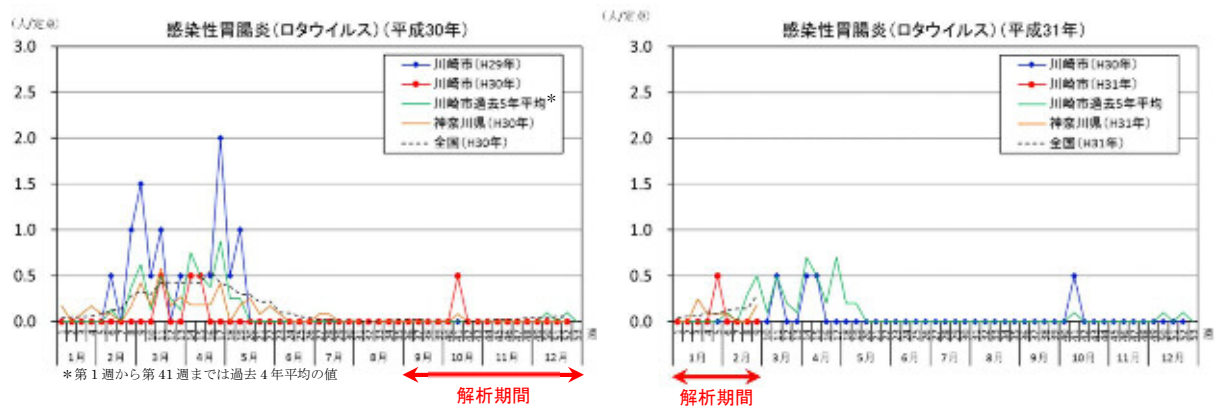
全国的には例年よりやや低いレベルで推移しました。



## 感染性胃腸炎(ロタウイルス)

### 【川崎市】

今期は定点当たり 0.04 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 0.91 倍で、例年並みのレベルで推移しました。第 41 週及び第 5 週にそれぞれ 1 件の報告がありました。



なお、病原体定点からの病原体検出状況は次のとおりです。

区名	患者性別	患者年齢	検体採取日	検査材料	検査結果
川崎区	男	2 か月	H30.10.12	ふん便	ロタウイルス G1P[8]

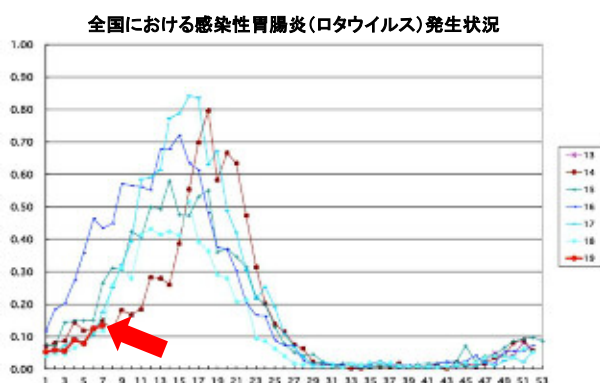
※単価ワクチン：G1P[8]を成分とした弱毒生ワクチン

※5 価ワクチン：G1、G2、G3、G4、P1A[8] を成分とした弱毒生ワクチン

単価ワクチン及び5 価ワクチンについては、いずれも G1P[8]、G2P[4]、G3P[8]、G4P[8]、G9P[8]に効果があると添付文書に記載されている。

### 【全国及びその他】

全国的にも例年並みのレベルで推移しました。

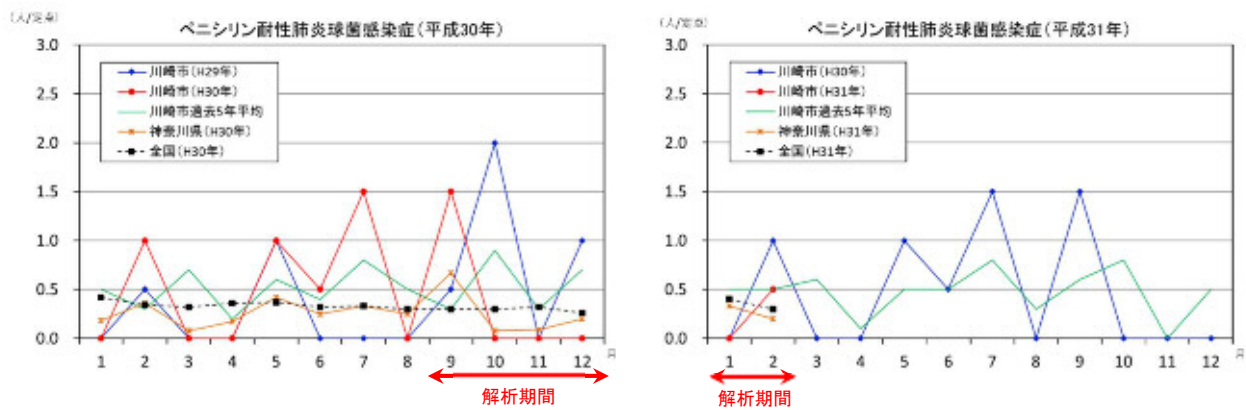




## ペニシリン耐性肺炎球菌感染症

### 【川崎市】

今期は定点当たり 0.33 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 0.62 倍で、例年より低いレベルで推移しました。9 月に 3 件、2 月に 1 件の報告がありました。



### 【全国及びその他】

全国的にも例年より低いレベルで推移しました。

